

子供達の夢と共に

教育後援会会長 高田 早恵子

この素晴らしい環境で学ばれた東京工業大学附属科学技術高校に在籍された生徒の皆様は、必ずや世の中に出て、立派に活躍されることは間違いないと思います。一番頭の柔らかい高校生のうちから科学技術について学び、発表をする経験はとても貴重なものです。ご指導いただいている先生方には大変感謝しております。

長男が入学させていただいてから早や5年がたち、今では大学三年生になろうとしています。私の友人の塾の先生に、「息子が中学校のパソコン部でロボコンに出て楽しかったらしく、審査員特別賞をもらってきた」と話した時に、「それならこの学校を受けてみたらいいんじゃない？」とすすめてもらい、長男が受験を決めたのは10月の文化祭を見学させていただいた時でした。他の高校の文化祭なども見学いたしましたが、どうもどの高校も模擬店ばかりで特徴もなく、魅力を感じなかった中、東工大附属高校では、生徒達が研究発表などで、一生懸命楽しそうに説明をしてくれて、大変好ましく思いました。長男も「この学校に入りたい！」とそれから3ヶ月今までにないぐらい一生懸命勉強をしていたのを覚えています。

息子が東工大附属高校に入学してくれたおかげで、私も教育後援会に関わらせていただき、とても楽しく、素晴らしい先生方、保護者の皆様と過ごさせていただいています。「俺より友達たくさんいるんじゃないの？(笑)楽しそうだから続けろ。」と今も長男は応援してくれています。

さて、教育後援会についてですが、一言でいえば、この素晴らしい子供達の学校生活を経済的に支援するためにできた団体です。全生徒の為に使う資金を集め、ボランティアで運営する組織です。是非ご理解を深めていただき、ご支援、ご協力願えればと思います。保護者の皆様との親睦の為に、文化祭のバザー・庭園見学会・お料理教室といった様々な行事も企画させていただいております。こちらにもご参加いただき、お子さんと共に保護者の皆様も東工大附属高校と関わり、楽しい時間をお過ごしください。お子さんとの会話も増えること間違いなしです。

最後に、先日次男の中学校であった講演会でのお話にふれさせていただきます。

東工大附属高校の生徒達も興味のある方が多いのではないかと思います。JAXAの広報センターの方から宇宙飛行士の最終選考のお話がありました。宇宙に出た時と同様に、外部から完全隔離された、携帯電話も、テレビもラジオもない、閉鎖空間中で、10人の受験者が一週間生活して、その中で様々な課題をこなし、リーダーシップや人格をみるとのこと。宇宙飛行士の選考に残る人は誰も高い技術力を持っているので、最後には臨機応変なチームワークが大事な要素となるようです。不測の事態に仲間と協力してどのように対応していくか。

どこの世界でも同じですね。これからも人と人との和を大事にして、子供達の夢の実現の為に、皆で頑張っていきましょう。



「都市美はあなたと私の財産」

— 日常生活の場・横浜での実践、実感、実体験 —

都市美対策の周縁について紙面を借りたいと思います。

● 地域の歴史と風土は景観に現れる

日本大通や山下公園通り、あるいは元町商店街でしばしば佇むことがある。これらの地域の都市美は横浜特有の都市文化の一つとして現れ、親しみのある快適な都市空間を実感することができる。その一つに質の高い歩行者空間の整備をあげることができる。そこは散策、憩、コミュニケーション、ショッピングなど日々の舞台ともなる。

かつて(30余年前)「都市美-その継承と創造」(横浜市)において既存地区の景観について地区ごとの特性把握とそれらの整備手法の指針づくりの調査に部外から直に関わる機会があった。当時、横浜市は逸早く都市の美しさ、快適さを街づくりの実践の中で活かす施策をとり入れ、成果が見えはじめた頃である。

地域ないしは街区のアイデンティティはその町に住む人々が作りあげた歴史の一部として街並み形成に現れ、それは風土と人間のかかわり方において成立していると考えられる。

● 景観形成手法について - 保全、修景、創造 -

美しい都市空間を次世代に伝える足がかりになる調査作業に係った経験から、今改めて街並みの歴史と都市美について考察してみたい。

市民の財産と云える都市美は都市環境を如実に物語り、快適性や文化性、先進性によって街のアイデンティティを形成する。ここで先に挙げた代表的な街路空間の都市美対策について具体的に述べる。

なお、これらの対策はすでに横浜市の街路整備の手法として浸透し、成果に結びついている。

1) 日本大通り (街路長 約400M)

日本で初の本格的防災遮断帯として計画された都市計画道路である。北端は横浜港、南端は横浜公園。

○ 景観特性

街路沿いの開放性が大きく、歴史性に富む。象徴的街路、風格ある銀杏並木、歴史的建築物、街路北端は倉庫上屋で行き止まり(南端は横浜公園)。

○ 都市美対策

保全的景観修正地区と位置づけ、道路形態を復元、歩行者空間の充実、街路の開放性保持、街路樹緑の保全整備、歴史的建造物の保全、北側端部景観を修正し港との関係を強化する。



井上 一
(いのうえ・はじめ)

昭和29年(1954年)
建築学科卒
東工大付属高校としての
第1回生

2) 山下公園通り (街路長 約600M)

関東大震災の瓦れきの処理地として関内地先を埋め立て造った日本初の臨海臨港公園であり日本大通りとは北西部部でゆるくつながる。

○ 景観特性

街路沿いの敷地が大きく、大規模建築が多く、左右の街路景観が大きく異なる(海側、陸地側)。街路樹、公園樹等緑が豊富、公園を介し海に接する。

○ 都市美対策

創造的景観修正地区と位置づけ、街路、公園、水際線を一体として整備、歴史的建築物を保全、他地区へのつながりを強化する(元町、中華街、山手)。

3) 元町 (街路長 約600M)

街路沿に建築物が密に建ち並び、間口の小さな個性豊かな店が並ぶ。

○ 景観特性

街路断面は1階部分を歩行者用に壁面後退で統一、特徴的である(建築協定: オーバーハング)。ショップフロントデザイン、サインデザインが街並の個性、独自性を強め、快適空間を演出している。

○ 都市美対策

保全的景観修正地区と位置づけ、1階部分壁面後退スペースに統一感をつくり出す(歩車道の床仕上材、デザイン等)、質の高いサインデザインの保持強化。街路の中間部分に歩行者用のよどみ空間を設け、街路全体の節をつくる。

以上、街並みの修景の実例について述べた。

● 建築設計におけるサーベイとは 街並みの文脈をよみとることに始まる

敷地が道路、隣接地から受ける形態的制約(法、条例等)をチェックリストにすることは初期段階の必須作業である。併行して街並の原風景に思いをやり、そこで生活しつづけている人々の原生活の呼吸づかいのようなものをよみとりフィールドノートにすることから始めたい。

街並みや建築物によって作られる環境から多くの情報を得ていることは好むと好まざるに係わらず現状肯定である。整然と静かな街であっても、また混沌とした猥雑な街であってもその

一隅に新しく建築することは一種の現状否定ともとれる。主張と同調のバランスをもって、すなわち在来の物と新しい物とによってできる空間が快適性のある街環境のエレメントとなるようにすることは文脈の読み方にかかる。

● 内部と外部の空間領域を意識することについて

注文主の必要としている用途機能を満たし、使いやすいものを設計することは第一のサービスである。

既存の街並みの一面に新しく建築するとき、建築物の構成要素で最も影響の大きい壁面と在来の物との間に生じる外部空間に対して内的秩序の拡大を計ることは快適性ある街並み形成の要点となる。古都など町家の生活習慣の一つの現れとして住む-内の行為-を各戸の前の道路まで至らせ、毎日掃き、水を打ちちょっとしたものを「あしらう」ことは精神性の高い内的センスの外部化、ここでは敢えて街空間の内部化ということにする。これは空間を同視、統一して考えることによって生じる。

内的空間の領域、境界のありかたを常にはっきりとした意識をもって計画することが街並み形成には欠かせない。都市計画的な全体発想で地域、町規模の領域を統一した手法によって空間秩序を創ることは計画性があって好ましいといえるが、我が国の場合一部は一部の再開発事業や都市整備事業等をのぞくと殆ど内から外へ、個から全体への創造思考によっている。部分発想で少しまとまった単位をテキストとする創造方法を編み出していると捕らえることが妥当だろう。

● 再び都市美について

都市美の基はまず都市の現代的な諸機能の調整からはじめなければならない。錯綜、混乱したままの状態では都市美形成の条件を見出すことは困難なうえ、市民の理解、協力がえられない、ここは真に行政の真価を発揮してもらう部分である。

一方、計画実行にあたって、街並みが与えてくれる幾多の情報を整理抽出し、概念を実体に移す段階においては物理的に美しく仕上げるための創意、手法についてのコンセンサスが不可欠といえる。

都市の街路照明は近年電線の地中埋設が進み無電柱の幹線道路が多く見られるようになった。かつて見えかくれていた建物本来の壁面がまず眼にとまる。

そうすると改めてファサードの材料や色、デザインが街並みに対して如何に重要かを再認識することになる。個人個人独特の距離感をもって街並みに関心を払う習慣がつくと、いろいろなものやことが見えてくる。見えてくると都市美に対する各自の尺度をもって美醜の原因をチェックしはじめるだろう

そこで「何故」という気がわいてきて、街の色や壁面からとび出ている看板、売り出しのノボリやヒラヒラしたもの、過剰な屋上広告等「美しい」の反対にある都市美の阻害要素に気づく。景観法の施行実行があるようにし、良質なコマースリズムの街並みに誘導する行政と市民の力が不可欠と考える。

街の快適性の一つとして街のバリアーを減らすことを忘れてはならない。

ユニバーサルデザインの発想によって街の灯、街の音、街のかおりを考えることは、真にクールジャパンの街づくり、都市美創出、継承に欠かせないだろう。ここで改めて人間性に立脚した街づくりが全ての出発点であることを確認して結びとします。

参考文献

- 芦原義信「街並みの美学」 岩波書店 1979
- 芦原義信「外部空間の設計」 彰国社 1975
- 横浜市 「都市美その継承と創造」 横浜市都市整備局 1981

執筆者プロフィール

1936年神奈川県生まれ
1956年建築家芦原義信(東大名誉教授、日本建築学会(100周年)会長、文化勲章受賞)の開設した「芦原義信建築設計研究所」創立と同時に入所、以後同氏の下で設計実務をとおして建築文化全般を学ぶ。
1980年から設計、運営全般に携わる
2003年芦原没後、代表として経営のかたわら継承準備をし
2010年退任、現在同研究所シニアアドバイザー

関係した主な作品

- 横浜市関連多数(横浜市関内ホール、女性フォーラム等)
- 東京芸術劇場、石川県立音楽堂、金沢市文化ホール
- 宮崎フェニックスリゾート「シーガイア」(リゾート法施行第1号)
- 資生堂 ザ・ギンザ、銀座日航ホテル等

仕事以外で続けていること

アスレチッククラブ通い 45年
酒は飛騨高山「久寿玉」一筋40年



以前の日本大通り



現在の日本大通り



山下公園通り (現在)



元町商店街 (現在)

第11回シェフ大塚お料理教室

2015年1月31日(土) 11:00~14:00
本校1号館3階 家庭科実習室にて

昼食で午後のエネルギーをしっかりと補給する

給食の場合、1日の3分の1の栄養素は確保されるので、残さずに食べれば心配はいりません。しかし、お弁当の場合は、毎日のことなのでバランスを考えた食づくりを頭を抱えるお母さんたちは多いことと思います。

エネルギー消費の激しい成長期ですから、昼食でエネルギーを十分に補給しておかないと、午後の活動に影響を及ぼします。午後は活動が1日の内で最も活発になり、精神的にも肉体的にも疲れはピークに達するとき。夕食までの長い時間のエネルギーを補給しておかなければなりません。

お弁当の場合は主食、主菜、副菜をバランスよく組み合わせるようにして、1日の必要量の1/3量を摂るようにします。まず弁当箱の半分はご飯を入れ、半分はおかずに入ります。そのおかずの半分は野菜を入れるようにします。さらに1/4量は主菜になる肉、魚などのタンパク源を、1/4量に果物などを入れます。こうすると、バランスのよいお弁当ができます。

女子はダイエットと称して、お弁当箱に野菜サラダや小さいおにぎりを入れていることがありますが、大事な成長期であることを忘れないように。昼食から夕食までの時間は長いので、帰宅して勉強中にお腹がすいて、夕食までもたないというときは、軽いおやつを食べるようにします。スナック菓子は手軽で子どもたちが喜ぶ食べ物ですが、



エネルギーだけで栄養的にはほとんどゼロに近い状態ですから、あまり勧められません。カステラ、サンドイッチ、おにぎり、煎餅、牛乳、ヨーグルト、野菜ジュースなど、できるだけ体によいものを心がけましょう。

■インゲンのゴマ和え

- 【材料】8人分
 インゲン ……480g
 A 練りゴマ ……大さじ4
 醤油 ……大さじ4
 砂糖 ……大さじ2
 料理酒 ……小さじ2
 ボイル用塩 ……適量
 醤油 ……適量

- 【作り方】
 ①インゲンは筋を取り、4cmの長さに切り、塩の入った熱湯で色よくゆでて冷水で冷やす。水分をしっかりと取っておく。
 ②Aの調味料を混ぜる。
 ③①に醤油を少しふりかけ下味をつけて、②で和える。



献立
レシピ

■マグロの竜田揚げ弁当

- 【材料】8人分
 まぐろ ……240g
 A 醤油 ……大さじ4
 料理酒 ……大さじ4
 砂糖 ……大さじ2
 おろし生姜 ……小さじ1
 でん粉 ……適量
 サラダオイル ……適量

- 【作り方】
 ①まぐろのさくは10gに切り、Aの調味料に漬けておく。
 ②でん粉をまぶし、170℃の熱した油で揚げる。



■笹がきゴボウの炒め煮

- 【材料】8人分
 ゴボウ ……240g
 にんじん ……160g
 豚肉小間切 ……160g
 サラダ油 ……大さじ4
 出し汁 ……300g
 醤油と酒 ……300g
 醤油と酒 ……各大さじ4
 砂糖 ……小さじ4

- 【作り方】
 ①ゴボウは笹がきにして水に入れアクを取る。にんじんも笹がきにする。
 ②サラダ油を熱し、豚肉、ゴボウ、にんじんを炒める。
 ③②に出し汁を入れ、調味料を加え、汁気がなくなるまで煮る。



■コールスローサラダ

- 【材料】8人分
 冬キャベツ ……1/2個
 にんじん ……40g
 レーズン ……30g
 A サラダ油 ……大さじ8
 酢 ……大さじ4
 塩 ……大さじ1/2
 白コショウ ……少々
 砂糖 ……適量

- 【作り方】
 ①キャベツは洗ってからせん切りにする。にんじんもせん切りにする。
 ②レーズンは湯で戻す。
 ③Aを混ぜてドレッシングを作る。
 ④①と②を混ぜて、ドレッシングを添えて、食べるときに和える。



■その他

- ミニトマト1人分2個
 (1/2にカットする) × 人数分
 ご飯3合で8人分の予定
 梅干し1人分1個 × 人数分
 炒りゴマ(白・黒) 適宜



デザートメニュー

■りんごのクレープ〜りんごとヨーグルトの絶妙な組み合わせ〜

- 【材料】8人分(1個120g)
 [煮りんご]
 りんご ……2個
 (皮をむいて串切り1/8カット)
 砂糖 ……50g
 赤ワイン ……100ml
 [その他]
 菜種サラダ油 ……適量
 水切りヨーグルト ……適量
 (プレーンヨーグルトをフィルター紙にのせて水を切る。)
- [煮りんご]
 薄力粉 ……40g
 上新粉 ……40g
 砂糖 ……30g
 卵 ……2個
 菜種サラダ油 ……大さじ1

- 【作り方】
 ①鍋にりんご、砂糖、赤ワインを入れる。紙などで落とし蓋をして火にかける。コトコト10分ほど煮たら、静かに冷まし味を含ませる。(煮りんご)
 ②粉類をあわせてボールにふるい入れ、砂糖、卵、サラダ油の順に加え、すり混ぜるように泡立て器でよく混ぜ合わせる。
 ③牛乳を少しずつ加え、ダマにならないようによく混ぜ、目の細かいザルで漉し、冷蔵庫で休ませる。(クレープ生地)
 ④フライパンをよく熱し、油を薄くひき、生地を流し入れて均等に広げる。縁の部分がクルリと反り返ってきたらひっくり返し、両面を焼く。菜箸や竹串を使うと上手に返せる。
 ⑤焼き上げたクレープに煮りんごと水切りヨーグルトをのせ、ふくさに包む。

アンケート

- 父です。普段お母様方と話す機会がありませんでしたが、親睦ができました。
- お弁当というテーマでしたが、普段の食事でも作ってみたい。
- 内容がとても良かったです。オムライスをおいしく美しく作ってみたいです。
- 同じ分野の先輩の話が聞けたのはとても良かったです。
- 楽しく料理ができました。

<回鍋肉(ホイコーロー)> 冷蔵庫にたいてい入っている食材で 手軽に作れるまかないです。

香ばしく炒めた豚肉の旨味が、コクと辛みのきいた味噌味になじんで、ご飯に合うこと、この上なし。人気のまかないです。豚肉とわずかな野菜でできるのも魅力です。ぜひ、調理してみてください。

- 【材料】4人分
 豚バラ肉ブロック ……250g
 長ネギ斜め切り ……20cmくらい
 しょうがスライ ……2かけ
 キャベツ ……葉3~4枚
 ピーマン ……2コ
 にんにくスライ ……1~2かけ
 ○サラダ油、塩、ごま油
- 【調味料】
 豆板醤大さじ2
 位紹興酒(日本酒)大さじ2
 醤油大さじ1
 甜麺醤大さじ2
 中華スープ大さじ3
 白コショウ少々
 水溶き片栗粉 小さじ2
 水 同量

- 【作り方】
 ①ねぎは斜め薄切りにする。それぞれ半量を熱湯に入れ、豚バラかたまりを20分間ゆでる。途中でアクを取る。
 【メモ】残りのネギとしょうがは肉を炒める時に使う。
 ②肉を冷水で冷やしてから薄切りにし、もう一度①の鍋に戻してサッと湯洗いで水けを切っておく。これで余分な油が完璧に落ちる。
 【メモ】ゆで汁は浮いた脂やアクを除けがスープなどに利用できます。
 ③キャベツは手で食べやすい大きさにちぎる。芯を包丁の腹で軽くたたいて柔らかくし、筋を手で引くように取り除く。
 【メモ】ちぎると味がしみやすくなります。
 ④ピーマンは縦半分に切ってから斜めに切る。にんにくは芯を取り、薄切りにする。
 ⑤深めのフライパンにサラダ油を熱し、キャベツ、ピーマンを強火で炒め、すぐに水カップ1/3と塩ひとつまみを加えてふたをする。15~20秒たったらザルにあけ、汁けを切っておく。
 ⑥あらためてフライパンに脂を入れ、②の豚肉を強火で炒める。色がついたら、にんにくと残りのネギ、しょうがを加え、香りがたつまで炒める。
 ⑦調味料を順に入れ、水溶き片栗粉でとろみをつける。野菜を合わせ、ごま油小さじ2をたらす。



清澄庭園見学会報告

副会長 門馬 進



教育後援会の事業に庭園見学会があり、毎年行われ今年で7回目となります。11月8日(土)に東京都指定名勝の「清澄庭園」で行われましたので、ご報告をいたします。当日は、見学会直前までポツポツと小雨模様でしたが、見学が始まると雨も止み、奇跡的に最後まで持ってくれました。場所は、都営地下鉄大江戸線と営団地下鉄半蔵門線が交差する「清澄白河駅」から徒歩3分、かつて深川と呼ばれた地域です。西に隅田川、そこから分岐する小名木川と仙台堀川に南北を挟まれた、時代劇によく出てくる歴史情緒にあふれた場所です。日頃の喧騒をのがれ、晩秋の静謐なひと時を過ごしました。

午後2時に庭園正門に集合しました。参加者は、高田会長をはじめに益田前副校長、連絡係の増田・今田両先生、後援会の役員さん、保護者の皆様など合わせて34名ほどとなりました。庭園内の解説は、3名のボランティアガイドさんが付いてくれました。10名少々の3グループに分かれ、大きな池・大泉水の順逆2方向に分かれ見学をしました。1班の人数が少ないため説明もよく聞け、目から入る情報と耳から入る情報がうまくシンクロして楽しく周遊見学できました。

清澄庭園は、有名な豪商・紀伊国屋文左衛門の屋敷跡という説がありますが真偽のほどは、はっきりしません。享保年間(1716~1735年)に下総関宿藩主・久世大和守の下屋敷となりこの庭園はスタートします。久世家は老中も輩出する力のある譜代大名でしたから立派な大名庭園として整備されたと推測されますが、岩崎彌太郎が明治11年(1878年)にこの地を含む一帯3万坪を取得しました。彌太郎は三菱社員の慰安と国内外貴賓接待の空間と



して造園に着手し、明治13年(1880年)に「深川親睦園」として開園しました。その後も庭園整備は進み、仙台堀から水を引いた大泉水(従って干満により水面の変動のある汐入池。現在は繋がっていない)を作り、全国から集めた名石を各所に配した。現在庭園西側に存する開放庭園も当時は一体で、大泉水はさらに大きなものでした。現存する岩崎邸を彷彿とさせるジョサイア・コンドル同設計洋館が建っていたようです。そこで三菱財閥のガーデンパーティが果ても無く繰り返されたことと想像されます(現在は無)。しかし関東大震災(大正13年1924年)で大被害を受けました。この庭園にも多くの人が集まり難を逃れませんでした。すぐ近くの両国の陸軍被服廠では、熱旋風に遭遇した多くの人が焼け死んだことを考えれば、ここは幸運の場所だったと思います。そのこともあってか、比較的被害の少なかった庭園東側半分が東京市

に寄付されました。その後復興・整備され「清澄庭園」として開園されます。



現在は東京都の名勝に指定されています。ああ、そういえばこの庭園は昭和20年(1945年)3月の東京大空襲のおりも、避難所として多くの人命を救っています。ここは深川の人々にとって、守護的役割を担う大切な場所なのかもしれません。

ボランティアガイドさんの案内に従い、園内に入ります。大泉水がとても大きく、庭園はほとんど池で占められ、その周りを1周するとお終いであることがわかります。入り



口そばの紅く色づきはじめてたハゼノキに歓迎され、見学を開始します。直ぐ大泉水の汀のにつき、今度は中の島「松島」の雪見灯笼の上に置物のようにクロサギが留まっています。宮本武蔵の墨絵のような厳しくも美しい光景を見ることができました。岩崎彌太郎が己の海運事業を利用して全国から収集した名石で作られた池の石橋、伝い石(「磯渡り」と呼ばれる所もあり)、枯山水様式に配された様々なものを暗示させる石。これらは、伊豆など海の石が多く、緑色に白や黒の縞の入ったたいそう美しい巨石が惜しげも無く配されています。また長い時間をかけ、水中で小石が多くの穴を穿ったスイスチーズのような石を彌太郎は珍重し、オブジェのように要所要所に配置しています。園内は大泉水越しに見晴らしが良く、入り口の対岸に富士山を模した巨大な築山(例によって頂上には富士の溶岩を配する懲りよう)と大泉水の中に浮かぶように建てられた「涼亭」(明治2年1909年に来日した国賓の英国元帥キッチナーの接待のため建設)がこの庭園の特徴を形作っています。そばまで行くと「涼亭」の背後に意外と広い敷地があり、桜の広場や花菖蒲田、芭蕉の句碑などがあります。かつて仙台堀から泉水を取り入れていた跡も見ることができました。

東北大震災でここも被害を受けたようで、大きな灯笼も倒れて池に転がり落ちたそうです。回遊のラストコーナー手前の「中の島」に架かる土橋も被災し未だ修理中でした。終点は大正天皇の葬場殿の移築からはじまる大正記念館です。その前庭で全員の集合写真を撮り、高田会長のしめのご挨拶をいただき庭園見学会を終了・解散しました。ありがとうございました。



蛇足。出口そばに「佐渡赤玉石」と言うのが木陰の目立たないところにありました。真っ赤な石で、あまり赤い岩石を見たことが無く、不思議な感じがしていましたところ、そばにおられた伊本副会長が、スマホで検索したら、赤玉石というのは小さい石でも高額で売買されている。これだけ大きな石だとどれだけの値段になるのだろうか?とビックリされていました。これは一例で、岩崎彌太郎は、どれだけの財力をこの庭園に傾けたのでしょうか。そういえばこれらの名石を全国から運び込んだ海運会社がある「日本郵船」です。



スーパーレスキューセット

今年度は、文化祭のバザーの収益等で、「スーパーレスキューセット(非常用救助工具セット)」を3セット、教育後援会から学校へ寄贈いたしました。現在は本館1階ロビーに設置しています。

スーパーレスキューBAG(品番: KGM-SRB1)

収納工具: 平バール(900mm) / 両口ハンマー(900mm 3.5kg)

ボトルクリッパー(600mm) / 革手袋 × 2 / ホイッスル

付属品: フリース毛布(800×1400mm) / 背板(300×910×2.5mm)

専用スタンド(品番: KGM-SRS1) / 専用カバー(品番: KGM-SRSC1)

スーパーレスキューBAGは救助用工具がコンパクトに収納でき、収納バッグが背負い式となっているため、救助が必要な場所へ簡単に背負って移動できます。収納してある工具を使ってけが人を救助し、収納バッグがレスキューチェア(非常用担架)になるため、狭い階段でもけが人を搬送できます(けが人搬送耐荷重200kg)。普段は専用スタンドに転倒防止用のベルトで固定して保管できます。専用カバーは防災生地になっているため、火災にも対応しています。

このスーパーレスキューセットが使用される状況にならないことを祈っていますが、万が一の災害時に迅速に対応するため、学校と相談して寄贈することとなりました。



弟燕祭バザー

教育後援会の行事として文化祭(弟燕祭)に参加、今年度もバザーを行いました。

これまでもバザーの売り上げを活用し、物品の設置や購入に、また学校の諸活動の補助にと寄付をしております。最近では除細動機(AED)の設置やレスキューセットの購入に使われています。

今年は、特に2日目が天候に恵まれなかったにもかかわらず、国際交流で来校していたタイの生徒さん達が大量購入してくれたということなどもあり、売り上げは2日間合わせて188,715円となりました。品物を提供して下さった皆様、当日購入して下さった皆様、誠にありがとうございました。これからも生徒の安全や教育活動に役立てていただけるよう、寄付していきたいと思っております。

また来年度もご協力よろしくお願いたします。



教育後援会だより 第16号 平成26年3月3日発行

東工大附属高校教育後援会 発行人 高田 早恵子

オフィシャルホームページ <http://tokodaihuzoku-koenkai.com>

印刷所 株)あおむし Tel.050-5803-3564